

共同研究（若手）の審査基準

(1) 研究の目的や内容等

若手主体の挑戦的な研究であり、個人研究の範囲をこえて共同で行う必要性が明らかな研究であること。

評価区分

4. 優れている 3. 良好である 2. やや劣っている 1. 劣っている

(2) 研究組織の妥当性

プロジェクトの趣旨に沿い、若手研究者を主体として組織されていること、メンバー構成や各自の役割分担などに関する記載から、研究組織の妥当性を判断する。

評価区分

4. 優れている 3. 良好である 2. やや劣っている 1. 劣っている

(3) 研究計画の妥当性

研究テーマ、共同研究構成員の役割分担、研究の実施計画などに関する記載から、研究計画の妥当性を判断する。

評価区分

4. 優れている 3. 良好である 2. やや劣っている 1. 劣っている

(4) 研究課題の独創性

期待される成果などに関する記載から、研究課題の独創性や革新性を判断する。

評価区分

4. 優れている 3. 良好である 2. やや劣っている 1. 劣っている

(5) 研究課題の発展性、成果アウトプットへの期待

期待される成果や関連プロジェクトなどに関する記載から、研究課題の発展性を判断する。本共同研究に応募した課題を発展させて、共同研究構成員が新たなプロジェクト等への申請につなげていく意欲があるものが望ましい。

評価区分

4. 優れている 3. 良好である 2. やや劣っている 1. 劣っている